

第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 9 回審議会

| | |
|--|--|
| 会議名 | 第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 9 回審議会 |
| 日時 | 平成 24 年 10 月 12 日（金）午後 3 時から午後 4 時 |
| 場所 | 宇治市総合野外活動センター（アクトパル宇治）研修室 |
| 出席者 | <p>（委員）</p> <p>森川 知史 委員長、門脇 洋子 委員長職務代理、奥西 隆三 委員、杉本 厚夫 委員、弓指 義弘 委員、石田 光春 委員、坂田 耕作 委員、清水 桂子 委員、原 保彦 委員、六嶋 由美子 委員、小宮山 恭子 委員、桑原 千幸 委員</p> |
| | <p>（事務局）</p> <p>藤原 千鶴 教育部次長兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長、山下 一也 教育改革推進室長、安達 昌子 生涯学習課主幹、川瀬 章治 生涯学習課主幹、西村 比口支 生涯学習課スポーツ係長、谷 泰明 生涯学習課事業係長、前田 紘子 生涯学習課生涯学習係長、西田 知世 生涯学習課主事、佐野 雅俊 生涯学習課主事</p> |
| | <p>（傍聴者）</p> <p>なし</p> |
| <p>前回の会議録について、修正なし。</p> <p>（ 1 ） 報告事項</p> <p>・ 第 30 回市民スポーツまつりについて</p> <p>10 月 8 日の体育の日に太陽が丘で第 30 回市民スポーツまつりが開催された。主催は、宇治市・宇治市教育委員会・（公財）京都府公園公社、主管は（財）宇治市体育協会をはじめ 20 団体、また、京都府野球連盟をはじめとして、様々な団体の方々にご協力いただいた。太陽が丘のほぼ全てを使用し、およそ 40 コーナーを設け、当日は延べ 1 万 4 千人の方々には新体力テストや様々なニュースポーツを体験していただいた。</p> <p>・ クールスポットの取組結果について</p> <p>前回の審議会でも報告したクールスポットの取組であるが、結果として市植物公園の来場者は 7,744 人で昨夏の 8,165 人を下回った。また、アクトパ</p> | |

第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 9 回審議会

ル宇治でも、8月の利用者が195人で昨夏の483人を下回った。アクトバル宇治に関しては、8月13、14日の水害が影響しており、通常通りの結果にはならなかった。

・第 22 回紫式部文学賞受賞作品について

『評伝 野上彌生子 - 迷路を抜けて森へ』の著者、岩橋邦枝氏が受賞された。

・第 22 回紫式部市民文化賞受賞作品について

『抹茶の研究』の著者、桑原秀樹氏と『オーパーツをつなぐ』の著者、譲原萌子氏が受賞された。また、『墓誌で探る旧伊勢田村の戦争』の著者、岩田行平氏が選考委員特別賞を受賞された。

・歴史資料館特別展について

9月29日(土)から11月18日(日)まで、歴史資料館で特別展「子どもたちの近代誌」が開催されている。

・「古典の日」の制定について

源氏物語千年紀をきっかけに、古典の日の制定について京都府・京都市等と動いてきた。この度、法律が制定したということで、市長コメント等資料をお配りさせていただいている。

(2) その他 時間の都合上、協議事項前に報告

・第 54 回全国社会教育研究大会山梨大会について

10月24日～26日に山梨県甲府市で開催される。杉本委員が全国社会教育委員連合副会長として出席され、宇治市からは門脇職務代理に出席していただくこととなった。

・平成 24 年度京都府社会教育研究大会について

本日の資料に、開催要項と出欠確認表をお渡しさせていただいた。11月16日(金)に木津川市加茂文化センターで開催される。

(委員)

今回の研究大会は、初めての試みとして全国大会の内容を府の研究大会の中で伝える内容となっている。また、山城地方で行っているラウンドテーブルを行い、自分達の意見を交換できる場としている。

・第 31 回宇治市「中学生の主張」大会について

11月10日(土)に文化センター小ホールにて、第31回宇治市「中学生の主張大会」が開催される。委員の皆様にはすでに案内を送付させていただいている。

・ 体育振興会連合会加盟団体運動会について

8月の審議会の中でご提案いただいたこと受け、今回の資料に各地域の運動会の日程表を付けさせていただきました。体育振興会連合会の役員会で、生涯学習審議会委員が来られることをお伝えしているので、ご都合がつけばお願いしたい。

(3) 協議事項

・ 生涯学習の場としての社会教育施設（野外活動施設）について

(委員)

平成26年度から水が十分に使用できるようになる、と聞いたが、スポーツをした後に十分にシャワーを浴びられない、風呂に入れれないというのは、お客の満足度に影響する。平成26年度といわず、もっと早く十分に水を使用できるようにしていただきたい。

(委員)

生涯学習施設という視点から外れるかもしれないが、もう少し娯楽性があってもよいのではないかと思う。例えば、釣り堀とか。現在は、お腹を満たすだけの食になっており、ここで食べて帰ろうとはならない。アクトパルならではの食をぜひ提供していただきたい。

(委員)

全日本中学ボーリング大会が宇治市で開催されて6年目になるが、アクトパル宇治がなかったら、大会自体開催できていない。宇治市・宇部市の交流事業の際も、こちらに泊まっていた。スポーツ関係では、こちらをメインで使用させていただいており、大変お世話になっている。ボーリングの際も、餅つきや抹茶の接待など、様々な催しをしていただいている。

(委員)

小学校の宿泊研修などで、宇治市内全ての小学校が利用していないそうだが理由はあるのか？

(事務局)

今まで利用している施設が良くて、そのまま継続して使っているのではないかと思う。また、臨海学習をする学校もある。

(委員)

今の財政状況を考えると、今後は補助金が減額されると思うがどうか？事業を行っていくためには、人・モノ・お金が欠かせない。

また、施設に関して、古い施設には人が集まらないと思うので、建物の補修は必要となってくる。用途を明確にして、寄付を募ってはどうか？

第5期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

宿泊の稼働率を上げなくてはならない。子どもを呼び込むようなおもちゃ部屋などが必要なのでは。また、高齢者の呼び込みも必要となってくる。営業活動も行ってはどうか？

(委員)

先ほども話があったが、来場者を増やすためには魅力的な取組が必要である。例えば、高速道路のサービスエリアは非常に画期的である。

(委員)

アクトパル宇治にグラウンド・ゴルフ場ができた時に、口を揃えて言ったのは、交通の不便さである。市民が気軽に来られるように循環バスの配車をお願いしたが、予算の関係等で難しいとの回答であった。車を運転できる人はよいが、できない人にはバスなどの足の確保が必要である。

また、先ほどサービスエリアの話があったが、こちらでも日にちを決めて地元の特産物などの販売をしてはどうか？

(委員)

私は毎週土曜日に宇治田原町へ野菜を買いに行っている。「新鮮・安い・珍しい」ので買っているが、そういったことが世間に広まると来場者が増えるのではないかと思う。

(委員)

売っているものを買うのではなく、自分で収穫したものを持って帰りたい。

また、陶芸の作品展をアクトパル宇治で開催しており、なぜ生涯学習センター等の別の施設で開催しないのか、と職員に尋ねると、この場所に来てほしいというので、あえてそうしていると、おっしゃっていた。

(委員)

町内会のレクリエーションでアクトパル宇治でいも掘りを体験したが、普段経験できないことなので、参加者からの反応が非常に良かった。

(委員)

アクトパル宇治の事業を見ていると、子どもやファミリー向け対象の事業が多い様に思える。バーベキューをする若者は多いので、そういう所を切り口にして、家庭ができた時に来やすくしたり、企業の研修等に使用したりするなど、裾野を広げてみてはどうか？アクトパル宇治を知らない人はまだ多いと思うが、隠れた需要はあると感じた。

(委員)

第5期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

秋まつりの音楽イベントでアクトパル宇治とは関わりがあるが、音楽も1つの突破口になるになると思う。可能であれば、施設の中に音楽堂を設け、吹奏楽の合宿等で使用していただきたい。

(委員)

バーベキューの施設はファミリーにしたら設備が整い過ぎている気がする。

(委員)

食堂の委託先に対して、競争相手はいないのか？

(委員)

アクトパル宇治設立当初から、笠取地域の振興としてやっていただいている。

(委員)

宇治川ラインにある店では、山菜ごはんや山菜うどんを扱っていた。春の間に採取したわらびやしいたけ等を山菜として使っていた。

(委員)

資料を見て思ったが、世の中にはメディア等から離れてスローライフを送りたい人はおられる。これも人を集める選択肢の1つである。

(委員長)

営業が前提なので参考にならないが、現在、ホテル業界では長期滞留型のものが増えている。それは、外に出ていかず、そのホテルに留まり続けるものである。ただし、おいしい料理を提供しないと客が外食しに外に出してしまうので、ただ一流ホテルの料理を提供するのではなく、地場の食材を使用するなど、工夫を凝らさなければいけない。

(委員)

以前、アクトパル宇治で川をせき止め、アユを放ち、アユ取りをしたことがある。子ども達が、自分達で竹を削り、アユを焼いて食べたが、子ども達は非常に喜んでいた。

そばを栽培するなど、体験型の事業をもっと増やしてほしい。

(委員長)

地域振興を進めていくことは分かるが、もう一つ先の段階にいかねばならない。

(委員)

アクトパル宇治では、農業体験はできるが食育の部分が弱い気がする。

(委員)

アクトパル宇治ができた当初は、ほとんど事業を行っていなかったが、現在ではよく頑張っていると感じる。これは、職員が慌てずにコツコツとレベルアップした結果だと思う。色々意見をおっしゃったが、できないこと、実現できないことが多い。特にバスの運行に関しては、今までの理事会等で意見があがっていたが、実現するのは難しい。

(委員)

指定管理者制度で運営しているところでは、委託料の範囲でしかやらないところが多い。その結果、アクトパル宇治でも一度利用者の数が落ち込んだ。それではいけないと思い、職員が試行錯誤を重ねた結果、お客さんに来ていただけるようになった。ただし、アクトパル宇治は、営利団体ではなく、公的な施設でもないの、落とし所が難しい。来てもらったお客に満足してもらうことが大きな課題である。

施設をよりよくするために、現在、長期計画を作成し、新しい方向を目指している。先日開催された、近畿地区社会教育研究大会の基調講演の中でもあったが、現在では“成長から成熟”がキーワードになっている。子どもやファミリーだけでなく、高齢者や若者も来られる世代を超えた施設を目指していく。人数にこだわるのではなく、来られた方が本当に満足していただけるようにしていくことが大切である。先ほどの話でもあったが、新しい地域振興というのは、ただ雇うのではなく、お金をおとしてもらうことが大事。新しいアクトパル宇治を目指すために、今後 10 年どうしていくか本日の意見を反映していきたい。

(委員)

今回、視察の前に施設に関する説明を聞いたが、源氏物語ミュージアムや文化センターでもやってほしい。

(委員)

本日の説明は、あえて開設当初から苦労してきた職員にお願いした。

(委員)

こちらの施設では、女性職員もしっかりしている。

(委員)

お客に笑顔で帰っていただくためには、職員が笑顔でなければならない。そのためには、職員同士が仲良くないと悪い印象につながる。ここに来たアルバイトの学生は、働きやすいとのことから毎年来ている。職員の受け入れ体制がよい。

(委員長)

第5期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

スローライフという言葉が共有する考えになっているかどうか。成長から成熟という言葉があったが、現在のところ、分かる人には分かるという状態である。

(委員)

もっと充実したライブラリールームがあったらよい。子ども向けの本が多いような気がした。

(委員)

川で遊ぶ子どもは多い。

(委員)

医療設備はあるのか？

(委員)

医務室はあるが、救急車で対応している。年に3、4件あると聞いている。

(委員長)

そういう意味では、これからもっと高齢者が増えてくるので対応を考えていただきたい。

また、宿泊の際には元気な若者と高齢者を一緒の空間にしないことも大切である。

(委員)

宿泊の際はそのように配慮している。

(事務局)

より多くの市民に楽しんでいただきたい、という思いはアクトパル宇治と生涯学習課の共通の考えなので、これからも車の両輪の様に頑張っていきたい。

・平成25年度予算(社会教育関係団体補助金)について

(事務局)

社会教育法の中で、「地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない」とされているが、委員の皆様には生涯学習関連事業全体の予算の一覧表をお渡しさせていただいた。社会教育関係団体への補助金に関しては、今年度、日本PTA研究大会が分科会を宇治市で開催したことから、連合育友会への補助金が増額している。

(委員)

第5期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

平成24年度の子どもの読書活動推進事業費がゼロとなっているが、事業は行わないのか？

(事務局)

平成23年度は、第二次推進計画策定のための費用として計上していた。事業をなくすというわけではなく、予算のない中で工夫して事業を行っている。子どもの読書活動の推進は、生涯学習課だけではなく、他課でも行っている。

(委員)

この資料には国からの補助金は計上されていないのか？

(事務局)

歳入ではなく、歳出の予算をお示ししているので、資料に国から入る補助金は計上していない。

(委員)

現在、社会教育の予算を充実されるという案が出されているようである。例えば、公民館活動を充実させていくということで予算を増額していくはずである。

社会教育団体として活動されている団体を一つのモデル事業として、補助金を確保していくことも考えていただきたい。

(事務局)

財務当局からも、できるだけそういった情報をキャッチし、確保できそうな補助金があれば、それは伝えていくようにと言われている。ただし、市の財政状況の関係もあるので、補助金を100%確保することは難しいだろう。

(委員)

6月に文部科学省との会議あり、学校教育だけではなく、社会教育にもっと力を注ぎ、子どもを育てていくこと、また、活動拠点としての公民館を活性化していくという流れがあるので、国の動きを注意してみていただきたい。

(委員)

図書館の話になるが、源氏物語ミュージアムの蔵書はコピー不可で閲覧のみとなっているが、普通の図書館にはない専門的な本が置いてあるので、貸出はできないとしても、写しだけでももらえないのか？

(委員)

著作権法の関係で、図書館ではない施設となると難しい。購入する主体

第5期宇治市生涯学習審議会 第9回審議会

を図書館にすればよいので、図書館の所蔵にしておいて、源氏物語ミュージアムに貸出をしているという形をとればよい。

(事務局)

このような意見があったことを原課に伝えておく。

【次回の会議】

平成24年12月14日(金)16:00～ 場所:東宇治コミュニティセンター